

「高齢者仕事掘り起こし会議」取りまとめ

1. 高齢者の雇用に対するアンケート(事業者)

① 調査概要

対象 石巻商工会議所及び3商工会会員のうち、業種及び従業員規模毎に抽出した500社
回答数 301事業所(回答率 60.2%)

② 調査結果

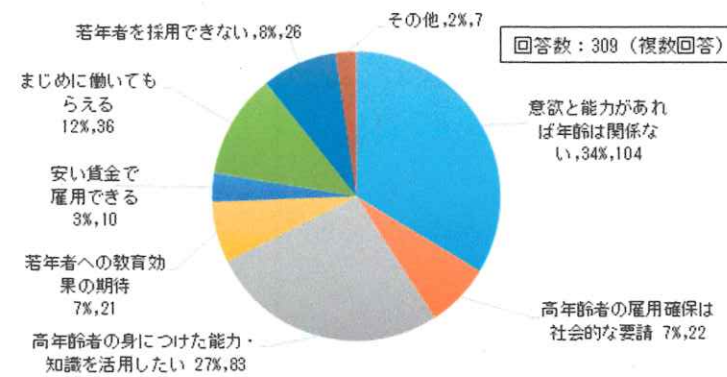
(1) 定年・継続雇用について

高齢者雇用安定法に基づき、ほとんどの企業において、定年制度の廃止、定年の引上げ、継続雇用制度が実施され65歳までの雇用機会の確保措置が取られている。9割の企業が定年を設け、1割は定年制を廃止している。

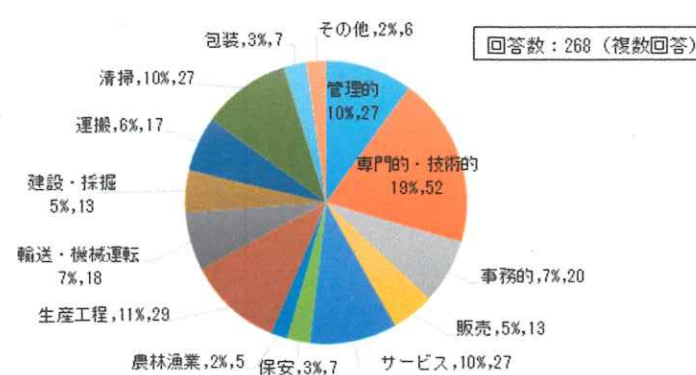
(2) 新規雇用について

- 「環境があれば大いに就労してほしい」との回答が5割を超え、高齢者の新規就労に対して前向きな意見が多く、新規雇用可能も5割となっている。
- 「意欲と能力があれば年齢は関係ない」、「高齢者の身につけた能力・知識などを活用したいため」などを理由に、企業側は高齢者に対し、年齢に捉われることなく、これまでの経験で身につけてきた能力・知識を発揮してほしいと考えている。
- 一方、「病気や労災事故のリスクが高い」等の理由から、高齢者雇用についてリスクを懸念する意見もあった。

働くことができる理由 (65歳以上雇用可の141社が回答)



65歳以上に任せる業務内容 (65歳以上雇用可の141社が回答)



③ 今後の方向性

「働きたいと思っている高齢者」と「雇用を希望する企業」とを、如何にして確実に結びつけることができるのか、その手法等について検討していく。

2. 高齢者の就労に対するアンケート(高齢者)

① 調査概要

対象 石巻市に住所を有する65歳以上で要介護認定を受けていないの方の中から2,000人を抽出

回答数 1,153件(回答率 57.7%)

② 調査結果

(1) 就労意欲について

約3割の方に就労意向があり、階層別に見ると「65歳～69歳」は46.9%と2人に1人程度が就労意向ありだが、「70歳～74歳」は32.7%、「75歳～79歳」は20.5%と、それぞれ10ポイント以上低減し、年齢が上がるにつれ就労意向は低減する傾向にあった。

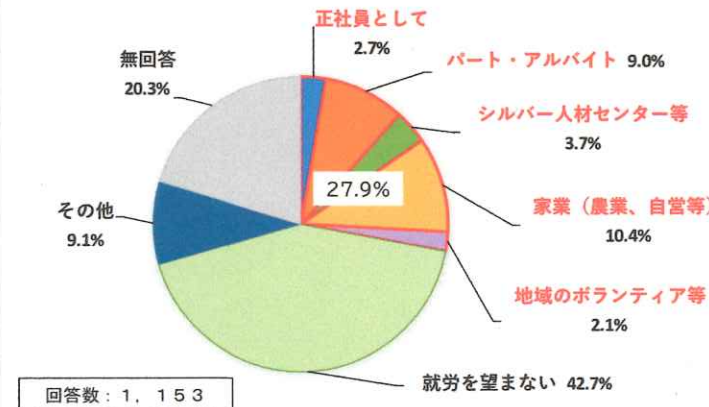
「生活費のため」よりも「健康維持のため」就労を希望する方が約10ポイント多く、「働くことが生きがい・社会貢献のため」と考えている方が3人に1人という結果であった。

(2) 就労形態、職種について

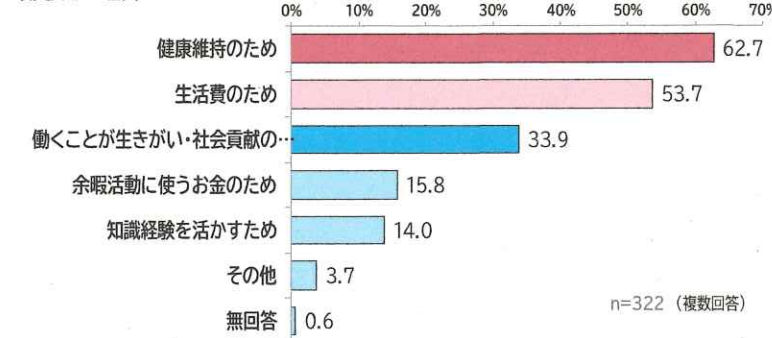
就労形態として、パート・アルバイトやシルバー人材センターでの就労を希望する割合が多く、希望月収10万円未満が約6割であった。

職種としては、「サービスの仕事」が最も多く、次いで、定年前から家業として行っていたことが予想される「農林漁業の仕事」となっている。

今後の就労についてどのように考えているか



働きたい理由



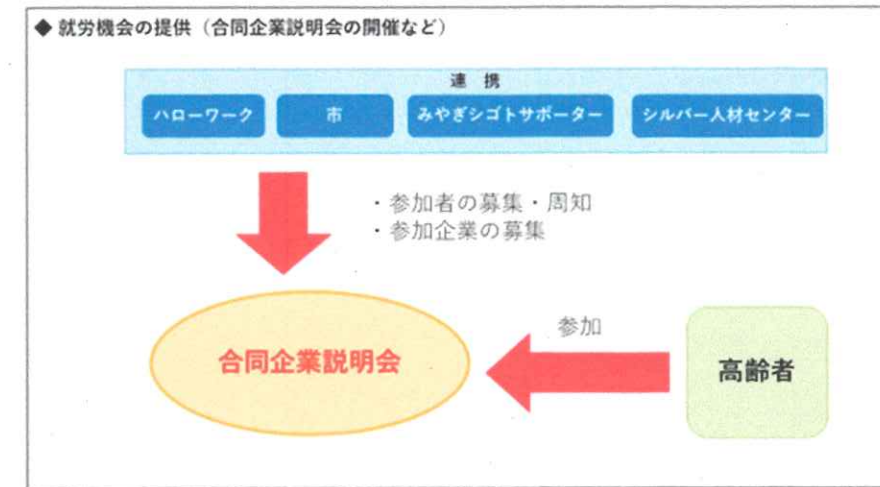
③ 今後の方向性

就労を希望する高齢者が多数いることが判明したことから、その高齢者に対して、働きやすい環境づくりに努めていくために就労事業者と結びつけを検討する

3. 今後の取り組み

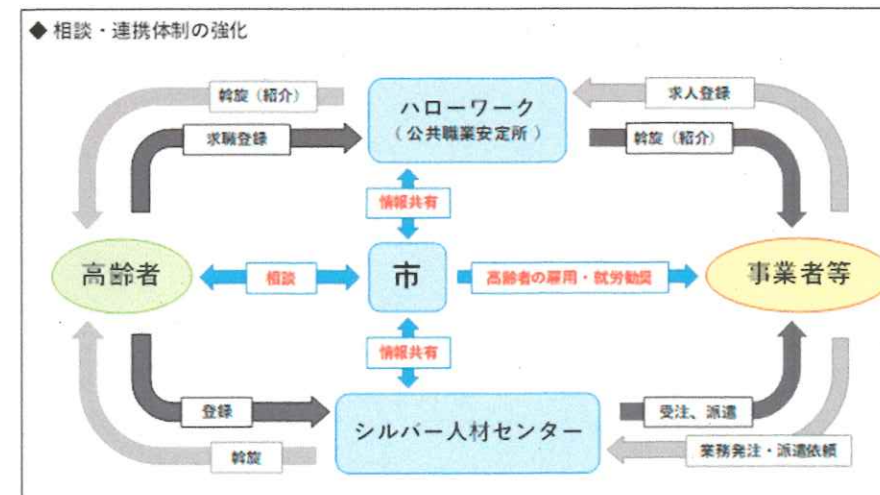
① 就業機会の提供

働きたい高齢者への直接的な就業機会の提供として、高齢者のみを対象とした合同企業説明会を開催する。



② 相談・連携体制の強化

働きたい高齢者と高齢者を雇いたい事業者、雇用主をスムーズに結びつけるために、関係機関との連携を強化するための体制を確立する。



③ 高齢者雇用、就労の促進

高齢者雇用安定法の啓蒙・周知を徹底し、高齢者の働きやすい環境整備を推奨する。

